

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
情報基礎演習 I Information Basics Practice I		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
コンピュータリテラシー II				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
亀田和則	講義棟 2階	月曜日		授業中に指示します
授業の概要				
Excelには、表にデータを入力して数式や罫線などを設定するという基本的な使い方に加え、定型的な集計作業を自動化するという使い方がある。この自動化をマクロとかVBAという。この授業では、簡単なマクロやVBAによるプログラミングを学習する。				
授業の目標				
①マクロとVBAとは何かについて、第三者へ説明できるようにする。 ②変数・配列の使い方を、第三者へ説明できるようにする。 ③条件判断・繰り返し処理の使い方を第三者へ説明できるようにする。 ④プログラムの種類とそれらの差異を第三者へ説明できるようにする。 ⑤初歩的な関数の使い方を第三者へ説明できるようにする。				
授業の方法				
①まず、各授業のねらいや演習をするときの注意事項を説明する。説明を受けた後、演習を行う。 ②理解度の確認を2回実施する。 ③毎時間、「亀田授業シート」を提出する。 ④スケジュールを変更する際には授業にて連絡する。				
学習の成果（学習成果）				
授業の目標①～④を達成すると、簡単なVBAを作ることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（学習成果、成績評価） 1章 マクロとVBAを活用しよう①（1. ExcelのマクロとVBA、2. Excelのマクロを有効にする、3. VBEを起動する、4. 操作を自動記録してマクロに保存する）			
第2回目	1章 マクロとVBAを活用しよう②（5. 自動記録したマクロを実行する、6. マクロをいろいろな方法で実行する、7. VBEでマクロの編集と削除をする、8. オブジェクトとプロパティ・メソッド・イベントとは）			
第3回目	1回目、2回目の復習と質問に対する回答			
第4回目	2章 変数・配列とステートメント①（1. 変数にワークシートの値を代入する、2. 配列にワークシートの値を代入する、3. If～thenステートメントで処理を分岐する）			
第5回目	2章 変数・配列とステートメント②（4. Select～Caseステートメントで処理を選択する、5. For～Nextステートメントで処理を繰り返す、6. Do～Loopステートメントで処理を繰り返す）			
第6回目	4回目、5回目の復習と質問に対する回答			

第7回目	【理解度1の確認と解説】	
第8回目	3章 プロシージャとVBA関数①（1. プロシージャとVBA関数、2. 日付と時刻を操作する、3. 文字列を操作する）	
第9回目	8回目の復習と質問に対する回答	
第10回目	3章 プロシージャとVBA関数②（4. 数値を操作する、5. Format関数で書式を操作する、6. MsgBox関数でユーザーにメッセージを表示する）	
第11回目	3章 プロシージャとVBA関数③（4. 数値を操作する、5. Format関数で書式を操作する、6. MsgBox関数でユーザーにメッセージを表示する）	
第12回目	3章 プロシージャとVBA関数④（7. InputBox関数でユーザーが値を入力する、8. その他のVBA関数、9. ユーザー定義関数で処理をする）	
第13回目	3章 プロシージャとVBA関数⑤（7. InputBox関数でユーザーが値を入力する、8. その他のVBA関数、9. ユーザー定義関数で処理をする）	
第14回目	10回目～13回目の復習と質問に対する回答	
第15回目	【理解度2の確認と解説】	
事前・事後学習	授業で終了しない演習は、課題となる。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	20%	亀田授業シートが該当する。満点となる条件は「丁寧に書いてあり、一回読むと内容が理解できる」である。
調査報告書		
小テスト	80%	理解度の確認が該当する。試験1つあたりの配点は80点/2である。満点となる条件は「制限時間内に、間違えがないVBAを作成する」である。
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
プリントを配布します。		
履修上の留意点・ルール		
2回の遅刻は1回の欠席となる。		